



Toshitaka IMAMI

シニア村 代表の 今美 利隆さん

素人発想から

動機は極めて単純。自分たちが将来「こんな形態の住まい」に住んでみたい。そして少しでも社会の為に役立つことが出来ればとの考えからスタート。
中、高齢者や障害を持った方が安心して住むには[医][食][住]が充足され、「生きがい」「やりたいこと」を見出していただたらどんなに素晴らしいことかと考えた。
全くの素人発想だったが、必ずニーズはあると夢を信じての船出となった。

課題が山積み

最大の難関は、開業までの資金と参加者が集まるかどうか。退職金を元手に始めたものの、収入はほとんどなし。果たして実現まで生活が成り立つかどうか。不安要素は山積み。それでも、とにかく行動してみることにした。
実際スタートしてみると、素人がマンションを作ることの難しさを痛感。その道のプロとも提携しながら進めるも、意見が折り合わず、何度も頓挫しそうになった。「ビジネスとしては成立しない企画！」とプロの業者とは物別れ。結局連携は出来ず、夫婦だけで企画を進めることになった。

実現に向けて！

いろいろなことを常にギリギリの選択をして進めていた。徐々に企画のオリジナリティがマスコミの方の目にとまり、メディアで取り上げてもらうようになり、賛同者、参加者も増え、現在は満室。キャンセル待ちが出るまでになった。

茨城県龍ヶ崎市出身。
(株)東芝を51歳の時に希望退職。その後、妻と二人でコーポラティブ方式のシニア村構想を企画。起業のため、各種資格の取得、マーケティング活動、セミナーに参加。平成15～18年まで「シニア村参加者募集」。
現在、入居予定者29世帯とシニア村建設組合を設立し、「手作りマンション」を建設中。来年7月完成。

私にとってのCB

「第2の人生を地域社会と共に」「思いを形に変える」喜びがある。
与えられたものではなく、「終の住家」を入居者と自分たちで共に作り上げる楽しさを分かちあえるもの。

起業するための3つの秘訣

必ず出来ると信じる
こと！(周囲の無責任な発言には耳を傾けない)

新しいことを試みるときは失敗はつきもの！挑戦する熱意を持つこと。

計画と目標を明確に立て、何度でも軌道修正しながら進める。

シニア村

連絡先

TEL 04-7105-8250

FAX 04-7185-9340

E-mail
imami@shinia-mura.com

Web

<http://www.shinia-mura.com/>
(シニア村で検索して下さい)

組織概要

予算規模 プロジェクト費用：7億円

会員・社員数 ...会員45名、スタッフ3名

事業概要 <マンションができるまで>
シニアマンションのコーディネーター

<マンションの完成後>
マンションの管理業務 マンション入居者のライフサポート業務 食事サービス 介護サービス

PR 診療所の医師(出来れば内科の先生)を探している。
龍ヶ崎市で開業ができそうな先生がいたら、ぜひご紹介ください。